

たまのまちづくり通信

テーマ

～「新・人流港」へ!～

人が集い交流する瀬戸内の港町 玉野

発行：玉野市中心市街地活性化協議会事務局

〒706-8533 玉野市築港 1-1-3(玉野商工会議所内)

TEL:0863-31-5011 FAX:0863-31-5558

E-mail:info@tamanocci.jp<http://www.tamanocci.jp/ccam/>

発行日：平成24年11月



基本計画認定後の取り組みについて

玉野市中心市街地活性化基本計画は、今年3月に念願の国の認定を受けましたが、計画された事業を実施するのはこれからであり、今後の取り組みが重要になってきます。

1、基本計画に記載されている事業実施のサポート

主要事業については、事業主体、関係者、専門家、地元住民を中心としたプロジェクトチームを組織し、具体的に推進していきます。

2、熟度不足により計画記載から外れた事業も、重要なものから支援

特に、築港街区及びその周辺地域での活性化事業の発掘・誘導は、商店街の賑わい創出やエリア内の回遊性向上の観点からも効果が期待できます。

3、瀬戸内国際芸術祭との連携事業の強化

来年3月20日から開催される、第2回瀬戸内国際芸術祭と基本計画掲載事業を連携させることにより、相乗効果を上げていきます。



たまのミュージアム オープン！！

ミュージアム入口



地元玉野市出身の漫画家「いしいひさいち」さんと「一条ゆかり」さんの作品展示を中心に、ののちゃんグッズや地元特産品の販売コーナーを設けた「たまのミュージアム」が、8月3日メルカ2階にオープンしました。

ミュージアムはシティーセールスの拠点施設として市が整備したもので、その他にも読書・交流コーナーや玉野市の歴史や著名人の紹介コーナーもあり、各種イベントや企画展示も定期的に行われます。

入場は無料で、気軽に立ち寄って本を読んだり、季節によって変わる「ののちゃん」の4コマまんがを楽しんだり、待ち合わせに利用したりと楽しく便利でくつろげる空間となっています。

場所：ショッピングモール メルカ2階
開館時間：10:00～19:00
休館日：毎週水曜日
お問合せ：31-6131
入場無料

「いしいひさいち」さん原画コーナー



「一条ゆかり」さんイラスト展示コーナー



いしいひさいち部会 (伊達元英部会長)

ののちゃんの絵を玉野全体へ。

いしいひさいち部会は、「たまのミュージアム」の企画を担当しています。地元の皆様に楽しんでいただけるように、様々な企画やイベント、玉野市出身の著名人の特集などを定期的に行くとともに、来街者や瀬戸内国際芸術祭の観光客にも足を運んでもらえるような、魅力のあるミュージアムにしていきたいです。

また、築港「ののちゃんち」の運営や「4コマまんが祭り」、「ののちゃんグッズ」の充実など、市のマスコットキャラクターである「ののちゃん」の更なる普及活動により、街を元気にしていきます。

クリエイター交流拠点施設 “uz”(うず) オープン

築港街区の空き店舗を活用し、クリエイターと地元住民との交流を図る施設“uz”(うず)のオープニング式典が、9月19日に開催されました。

(uzとはうのずくりから命名しました)

式典には、うのずくり実行委員会やNPO法人「みなと・まちづくり機構たまの」、移住者、地元住民、市役所の関係者など約30人が参加。テープカットや乾杯をして施設の完成を祝いました。

移住者らの交流拠点とするとともに、地元住民や観光客も立ち寄ってもらえる場にしていきます。

また、地元クリエイターの作品を紹介するギャラリーやカフェを展開します。



玉野市 黒田 晋市長のメッセージ(抜粋)

本年3月に「玉野市中心市街地活性化基本計画」が内閣総理大臣の認定を受け、今後5年間で中心市街地の活性化と賑わいの創出に向けて、官民協働により各種事業が展開されることとなっておりますが、「うず」の設置とここを拠点とした活動は、計画の中でも重要な事業の1つとして位置づけられております。

この「uz」を拠点として、「うのずくり」の活動を通じたクリエイターの移住促進をはじめ、クリエイターと地域住民との交流やコミュニティの醸成を目指されるのとことですが、本市におきましても、これから「定住促進のためのプロジェクトチーム」を立ち上げまして、定住促進施策を検討していくこととしております。

今後は、「uz」を拠点として展開される「うのずくり」などの活動に本市の施策を連携させることで、まさに官民協働による定住促進を図り、市外からの定住を後押しするための仕組みを作り上げていきたいと考えております。

最後になりましたが、「uz」が多くの皆様に末永く愛される施設として、街の活力の源泉となることを期待しております。

うのずくり部会

24年度活動報告

実行委員長 森 美樹

《移住者》

- ・ 昨年(2023)の10月から今現在まで、3組8名が移住
- ・ 12月～来年2月に3組(6人)が移住予定

《交流イベント「うのきゃん」の開催》

- ・ 日本各地から約40名が参加、キャンプ、BBQ、映画座鑑賞 24年8月11日～14日

《ずくりワークショップの開催》

- ・ 第2回 「東京仕事百貨と、仕事と人と、これからと」・・・中村 健太氏
- ・ 第3回 「街のスキマさがし」・・・・・・・・・・・・・・・・今村 ひろゆき氏
- ・ 第4回 「Web とひとと暮らしと街と」・・・・・・・・松原 佳代氏

- ・ 次回予告 12/1(土)13時～講師:五十嵐勝成・麻美(デザインスタジオ fit)

「うのずくり」とは、・・・『うのに住(す)んで+つくる』

- ・ 定住人口・仕事の増加、空き物件の減少
- ・ 観光資源・賑わいの創出、アート拠点と連携
- ・ 交流拠点の設置と新たなコミュニティの形成
- ・ HP URL: <http://www.unozukuri.com/>

瀬戸内温泉「たまの湯」

建設工事進む

瀬戸内温泉「たまの湯」は、7月30日に地鎮祭が行われ、8月10日に工事着工の運びとなりました。

待ち遠しい開業日ですが、来春を予定しています。木造では最大級の純和風の建物は、JR宇野駅からもフェリーからも一目で分かるランドマーク的な存在となります。



《施設概要》

1、お風呂ゾーン

- ・露天風呂（沢の湯、棚田の湯、寝ころび湯、絶景風呂他）、他各種お風呂

2、サウナゾーン

- ・ロウリュウサウナ、塩サウナ、岩盤浴、麦飯石房、エステ、マッサージ、アカスリ

3、休憩室

- ・マッサージチェア、寝ころび室、マンガコーナー、女性専用休憩室

4、和食レストラン

- ・地場新鮮魚介類メニュー他、全88席プラス60畳和室あり

《連携事業》

1、地元特産品販売コーナー

- ・玉野産にこだわった海産物・農産物・スイーツなどを品揃え

2、コミュニティブースの設置

- ・60畳の和室を活用して、各種講座や作品展の開催（温泉湯治講座、ヨガ教室など）

3、地域情報発信の強化

- ・観光名所・イベント・グルメ・街歩きマップ・アートスポットなどのパンフレットの設置

どてきり部会

（吉本 誠部会長）

《どてきり養殖》

どてきり（ノコギリガザミ）は中華料理やタイ料理に使われる高級食材であり、かつては瀬戸内海沿岸に多く生息していました。3年前から、同部会と岡山理科大学、玉野商工会議所が共同で養殖実験に取り組んでいます。

今年5月に養殖池（8m四方、水深約1m）を造り、80～100gの個体約250匹を放しました。7月にはその内約半数が300g平均と順調に生育しています。

